

モニタリングレポート(令和4年度)					
施設名		鈴鹿市河川防災センター			
施設所在地		鈴鹿市庄野町981番地1			
指定管理者名		株式会社 GFM			
評価担当課		防災危機管理課		問合せ先	
				059-382-9968	
施設の運営状況		(確認方法)日報, 月次報告書, 年度事業報告書			
開館日数	359日	総利用者数	5,246	1日当たりの利用者数	14.6人
開館時間	午前8時30分から午後5時まで				
事業収支		(確認方法)年度事業報告書			
項目		計画値(単位:円)		実績値(単位:円)	
		計画比(単位:円)			
指定管理料		13,200,000		13,200,000	
利用料金		0		0	
収入計		13,200,000		13,200,000	
人件費		7,222,000		7,721,197	
旅費交通費		280,000		200,911	
通信運搬費		85,000		105,516	
受信料		90,000		90,484	
消耗品費		250,000		411,371	
修繕費		500,000		138,100	
印刷製本費		15,000		0	
燃料費		20,000		3,008	
光熱水費		1,800,000		2,397,896	
賃借料		0		0	
手数料		0		9,465	
保険料		150,000		0	
委託費		2,000,000		2,026,770	
本部管理費		0		32,130	
備品購入費		0		29,956	
租税公課		787,200		704,900	
支出計		13,199,200		13,871,704	
収支		800		▲ 671,704	
自主事業収入		130,000		113,769	
自主事業経費		90,000		10,300	
自主事業収支		40,000		103,469	

評価項目	確認方法	評価	所見
業務の履行確認 (計画書や仕様書の内容を満たしているかを○×で評価してください。)	月次報告書	○	すべて適切に履行されている。
	現地調査	○	すべて適切に履行されている。
	定例報告会	○	すべて適切に履行されている。
サービスの質 (「優良・良・普通・要改善」の4段階で評価してください。)	アンケート	優良	新型コロナウイルス感染症により、利用制限があったものの、満足の評価をいただいた。より一層のサービス向上を意識して運営していくよう指導した。
	現地調査	優良	衛生面、景観面等いずれも高水準で維持されている。
業務遂行能力 (各種財務指標等を参考に同業他社との比較も含めて○×で評価してください。)	貸借対照表	○	マニュアルの確認事項は問題なし。
	損益計算書	○	マニュアルの確認事項は問題なし。
	年度事業報告書 (事業収支表)	○	マニュアルの確認事項は問題なし。
年度業務報告書の内容評価			○適・不適
職員退職に伴う人件費及び電気料金値上げに伴う光熱水費増加により、本施設単独での事業収支は赤字となったが、業務の履行、サービスの質ともに優良である。			
定例報告会の頻度と内容の評価			○適・不適
定例報告会は年4回開催し、報告に関する質疑応答、課題共有などを行った。また、自主的な改善提案があるなど意欲的な内容であった。			
緊急時の対応評価			○適・不適
令和4年度は大規模な災害発生はなかったが、災害に備えた訓練も適切に行っており、万一に備えている。また、トラブルや苦情への対応については、担当課への連絡が適正に行われている。			
指定管理者の総括評価			○適・不適
業務の履行、サービスの質、業務遂行能力に問題はない。また、緊急時の体制も整っており、施設の役割を理解し管理されている。			
施設の課題と対策			
施設の経年劣化に伴う修繕が必要であり、優先順位をつけ計画的に実施していく必要がある。コロナ禍前と比較すると施設利用者は減少しているが、令和4年度は回復傾向にある。			
施設の方向性			
河川防災センターは大規模災害時の防災拠点としての施設であるため、今後も質の高い維持管理を継続していく。			